

## 平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 大井 昌彦

TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	13,344	10.2	2,784	30.4	2,672	△1.8	2,658	48.5
29年9月期第2四半期	12,108	△8.5	2,135	△15.3	2,721	11.4	1,789	21.3

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 1,252百万円 (△61.8%) 29年9月期第2四半期 3,278百万円 (434.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	177.01	-
29年9月期第2四半期	119.18	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	41,378	25,764	62.3
29年9月期	42,066	25,413	60.4

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 25,763百万円 29年9月期 25,413百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	60.00	60.00
30年9月期	-	0.00	-	-	-
30年9月期(予想)	-	-	-	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,300	10.3	6,800	11.4	7,200	3.5	5,500	20.3	366.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年9月期2Q	15,348,720株	29年9月期	15,348,720株
30年9月期2Q	331,854株	29年9月期	331,764株
30年9月期2Q	15,016,903株	29年9月期2Q	15,016,985株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成30年5月30日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
3. 補足情報 .....	11
受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成30年3月31日、以下、当第2四半期又は当期間)におきましては、当社が販売展開している海外市場では、やや低調な市場が見られたものの、顧客の潜在需要は底堅く推移するなど、当社を取り巻く経営環境は堅調さを維持しながら推移しました。

このような中、販売面では、世界各地で開催された主要展示会への参加や本社での社内展の開催など、積極的な販売拡充策を講じました。技術面では、市場ニーズの拡大が期待される新製品の開発や顧客提案を本格的に推進するとともに、生産面では、事業規模の拡大を見据えて、国内新工場の建設推進、終盤に差し掛かっているインド第3工場の建設に注力するなど、生産体制の充実を図る施策を進めました。

当期間の売上高につきましては、当期間の期首受注残高が、やや高い水準であったこともあり、13,344百万円(前年同期比110.2%)と増収となりました。また、当期間の受注高につきましては、地域的な濃淡が見られたものの、14,610百万円(同90.0%)を確保しました。なお、当期間末現在の受注残高については、10,326百万円(前年同期末比87.6%)となっております。

## 製品別売上高状況

(単位:百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第2四半期	7,029	3,826	864	1,624	13,344
前第2四半期	6,529	3,486	688	1,403	12,108
前年同期比	107.7%	109.8%	125.5%	115.7%	110.2%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が7,029百万円(前年同期比107.7%)、金型が3,826百万円(同109.8%)、付属機器が864百万円(同125.5%)、部品その他が1,624百万円(同115.7%)とそれぞれ増収となりました。機種別では、小型機ASB-12M型や主力のASB-70DPシリーズが増収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## セグメント(地域)別売上高状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第2四半期	3,922	3,100	4,438	638	1,245	13,344
前第2四半期	2,995	2,477	4,240	827	1,567	12,108
前年同期比	131.0%	125.2%	104.7%	77.1%	79.4%	110.2%

## ① 米州

北米市場では前年同期の水準をやや下回ったものの、堅調に推移している中米市場などで大幅増収を確保したことにより、地域全体の売上高は3,922百万円(前年同期比131.0%)と大幅増収となりました。セグメント利益は大幅増収の影響などにより、1,128百万円(同113.9%)と増益となりました。

## ② 欧州

対ユーロでは円安基調で推移したこともあり、地域全体の売上高は3,100百万円(前年同期比125.2%)と大幅増収となりました。セグメント利益は、増収効果などもあり、1,278百万円(同168.8%)と大幅増益となりました。

## ③ 南・西アジア

インド市場やドバイ販売法人で増収となったことにより、地域全体の売上高は4,438百万円(前年同期比104.7%)、セグメント利益は947百万円(同133.2%)となりました。

## ④ 東アジア

主要市場の中国では前年同期を僅かに上回ったものの、台湾などの市場で減収となり、地域全体の売上高は638百万円(前年同期比77.1%)と大幅減収となりました。セグメント利益も大幅減収の影響により、184百万円(同81.5%)と大幅減益となりました。

## ⑤ 日本

期首受注残高が低かったこともあり、売上高は1,245百万円（前年同期比79.4%）と大幅減収となりました。セグメント利益も、376百万円（同89.7%）に留まりました。

利益面では、増収効果などの影響により、売上総利益は6,411百万円（前年同期比116.8%）、営業利益は2,784百万円（同130.4%）とそれぞれ大幅増益となりました。

営業外損益では、円高基調の為替環境を背景に為替差損を計上したことにより、経常利益は2,672百万円（同98.2%）に留まりました。一方、最終損益である親会社株主に帰属する四半期純利益は、多額の投資有価証券売却益の計上により、2,658百万円（同148.5%）と大幅増益になりました。

なお、売上高、売上総利益、営業利益及び最終利益は、第23期（平成13年9月期）から集計している第2四半期連結累計期間（第30期以前は中間期）で過去最高を記録しました。

当第2四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期	13,344	6,411	2,784	2,672	2,658
前第2四半期	12,108	5,489	2,135	2,721	1,789
前年同期比	110.2%	116.8%	130.4%	98.2%	148.5%

## (2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

（単位：百万円）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第2四半期	29,468	11,910	11,539	4,074	25,764
前連結会計年度	30,319	11,747	10,839	5,812	25,413

当第2四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、たな卸資産が大幅に増加いたしました。受取手形及び売掛金や現金及び預金の減少により、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ851百万円減少し、29,468百万円となりました。また、固定資産は、投資有価証券の売却があったものの、インドや国内での新工場建設による建設仮勘定の増加により、前期末と比べ163百万円増加し、11,910百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ688百万円減少し、41,378百万円となりました。

流動負債は、約定返済により短期借入金が増加した中で、1年以内に返済予定の長期借入金の流動負債への振替が増加し、流動負債は前期末と比べ699百万円増加し、11,539百万円、一方、固定負債は、主として前述の振替により前期末と比べ1,738百万円減少し、4,074百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前期末と比べ350百万円増加し、25,764百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金)は、前連結会計年度末に比べ1,942百万円減少し、6,853百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間(以下、当期間)における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
当第2四半期	175	△282	△1,690	6,853
前第2四半期	2,609	△976	△455	7,615

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の大幅増加及び法人税等の支払いによる資金の大幅減がみられた中で、売上債権の減少や税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加が僅かに上回り、営業活動の結果増加した資金は175百万円(前年同期:2,609百万円の収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却収入が計上されたものの、インド第3工場や千曲川工場への設備投資に係る支出があり、投資活動の結果支出した資金は282百万円(前年同期:976百万円の支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や期末配当金の支払いにより、財務活動の結果支出した資金は1,690百万円(前年同期:455百万円の支出)と大幅に増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(平成29年10月1日～平成30年9月30日)の連結業績予想につきましては、当第2四半期の経営成績等を踏まえ、平成29年11月10日付「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成30年5月9日)公表いたしました「平成30年9月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,925	8,119
受取手形及び売掛金	6,680	4,986
商品及び製品	2,120	2,625
仕掛品	4,898	6,246
原材料及び貯蔵品	4,093	4,561
繰延税金資産	1,312	1,449
その他	1,358	1,570
貸倒引当金	△70	△91
流動資産合計	30,319	29,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,742	1,661
機械装置及び運搬具(純額)	2,163	1,928
土地	1,165	1,165
その他(純額)	2,153	3,704
有形固定資産合計	7,223	8,459
無形固定資産		
投資その他の資産	121	121
投資有価証券	1,679	246
その他	2,862	3,206
貸倒引当金	△139	△123
投資その他の資産合計	4,402	3,329
固定資産合計	11,747	11,910
資産合計	42,066	41,378

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,230	4,113
短期借入金	1,353	2,135
未払法人税等	1,275	1,037
前受金	2,399	2,502
賞与引当金	200	234
役員賞与引当金	15	12
その他	1,365	1,504
流動負債合計	10,839	11,539
固定負債		
長期借入金	3,453	1,886
役員退職慰労引当金	313	339
退職給付に係る負債	571	525
その他	1,473	1,323
固定負債合計	5,812	4,074
負債合計	16,652	15,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	18,645	20,402
自己株式	△201	△202
株主資本合計	25,500	27,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855	81
為替換算調整勘定	△942	△1,574
その他の包括利益累計額合計	△87	△1,493
非支配株主持分	0	0
純資産合計	25,413	25,764
負債純資産合計	42,066	41,378



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	12,108	13,344
売上原価	6,619	6,933
売上総利益	5,489	6,411
販売費及び一般管理費	3,353	3,626
営業利益	2,135	2,784
営業外収益		
受取利息	58	67
受取配当金	10	15
為替差益	403	—
受取手数料	72	78
その他	48	9
営業外収益合計	592	170
営業外費用		
支払利息	5	4
為替差損	—	270
その他	1	7
営業外費用合計	6	283
経常利益	2,721	2,672
特別利益		
固定資産売却益	4	1
投資有価証券売却益	—	1,189
特別利益合計	4	1,190
特別損失		
固定資産売却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	2,725	3,862
法人税、住民税及び事業税	942	1,231
法人税等調整額	△6	△28
法人税等合計	936	1,203
四半期純利益	1,789	2,659
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,789	2,658

(四半期連結包括利益計算書)

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	1,789	2,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	△774
為替換算調整勘定	1,126	△632
その他の包括利益合計	1,489	△1,407
四半期包括利益	3,278	1,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,279	1,251
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,725	3,862
減価償却費	324	385
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	14
受取利息及び受取配当金	△68	△82
支払利息	5	4
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,189
売上債権の増減額 (△は増加)	130	1,471
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△617	△2,684
仕入債務の増減額 (△は減少)	269	190
前受金の増減額 (△は減少)	740	204
その他	△492	△644
小計	3,023	1,530
利息及び配当金の受取額	73	86
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△482	△1,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,609	175
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△150	△198
有形固定資産の取得による支出	△820	△1,626
有形固定資産の売却による収入	8	2
無形固定資産の取得による支出	△17	△29
投資有価証券の売却による収入	—	1,567
その他	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△976	△282
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△302	△138
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△547	△647
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△599	△899
その他	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	△1,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	244	△145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,422	△1,942
現金及び現金同等物の期首残高	6,192	8,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,615	6,853

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	2,995	2,477	4,240	827	1,567	12,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,995	2,477	4,240	827	1,567	12,108
セグメント利益	991	757	711	225	419	3,106

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,106
全社費用	△679
たな卸資産の調整額	△139
その他の調整額	△151
四半期連結損益計算書の営業利益	2,135

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	3,922	3,100	4,438	638	1,245	13,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,922	3,100	4,438	638	1,245	13,344
セグメント利益	1,128	1,278	947	184	376	3,915

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,915
全社費用	△783
たな卸資産の調整額	△130
その他の調整額	△218
四半期連結損益計算書の営業利益	2,784

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

受注及び販売の状況

## ① 受注状況

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	9,934	7,800	7,862	6,113	79.1	78.4
金型	3,929	3,069	4,041	3,445	102.9	112.3
付属機器	949	803	1,102	699	116.2	87.1
部品その他	1,429	116	1,603	66	112.2	57.5
合計	16,242	11,789	14,610	10,326	90.0	87.6

## ② 販売実績

製品別	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	6,529	53.9	7,029	52.6	107.7
金型	3,486	28.8	3,826	28.7	109.8
付属機器	688	5.7	864	6.5	125.5
部品その他	1,403	11.6	1,624	12.2	115.7
合計	12,108	100.0	13,344	100.0	110.2